

多摩永山中学校だより

編集・発行 校長 佐藤 信雄

<http://schit.net/tama/ihtamanagavama/>

「天下はあれほど遠いかな、赤兎」^{せきと}

校長 佐藤 信雄

中国の歴史書をベースにして小説化された『三国志（演義）』には、たいへん魅力的な英雄、豪傑達が登場しますが、董卓（とうたく）や袁術（えんじゅつ）、呂布（りょふ）のように、ずいぶんと嫌われ続けている人物もいます。二次創作となる歴史小説やマンガ、アニメでもまず悪役、嫌われ役として描かれることが多いこれらの人物たちですが、作者が変わると、同じ三国志をベースにしているとは思えないほどの、新しい魅力を纏った人物として再生されることがあります。今日はその代表例である呂布をとりあげましょう。

三国志では、呂布は養父を金品に目がくらんで殺害し、次の養父には大いに引き立てられながら女性目当てにこれも殺害、一貫しない戦略と裏切りの連続で人々の信頼を失い、当代一の武勇をもつ豪傑ながら、最後は命乞いをしつつ処刑されます。たいていの小説、漫画、アニメでもここは似たり寄ったりです。

ところが北方謙三の描く『三国志』（角川春樹事務所 2001～）では、全く異なる人物として創作され、新たな命を宿しています。己の生き方に誇りをもち、その誇りと愛する女性とを守るために戦い、愛馬の赤兎（せきと 一日二千里を走ると言われた、全身赤色の馬）とは熱い友情を交わす武将です。曹操の卑怯ともいえる戦い方に傷ついた赤兎を託して最後の戦へ從容として赴く姿は、北方謙三だからこそ描けたであろう、新しい呂布像です。ここで、その白眉と言つてよい場面を紹介しましょう。

武人として独立後、いくつかの戦いに勝ち残った呂布は、つかの間の憩いの時を、愛馬の赤兎と過ごします。波に赤兎の脚を洗わせながら、水平線に沈みゆく夕陽を眺めて、呂布は穏やかに赤兎に問いかけます。

「天下はあれほど遠いかな、赤兎。」

武人呂布が天下を意識し始めたこと、そしてそれをまず打ち明けるのが他の誰でもなく愛馬赤兎であること、呂布の静かな決心と、両者の間の友情と信頼がたいへん鮮やかに描かれています。それと同時に、その気持ちを口にできる友人も部下の武将もいない呂布の孤独さをいまさらに感じさせる場面もあります。

この話から、私が生徒の皆さんにお伝えしたいことは二つあります。一つは、今までと同じイメージで世界を見ていては、面白くないし、見失うことがあるということです。呂布=悪役と長いことされてきたイメージから脱却して、新しい呂布像を創り出した北方謙三のように、私たちは私たちで世の中の人物や、出来事や、制度や、歴史に新しい解釈を与えることができるのです。もちろんそのためには、今までの評価、イメージをきちんと理解しておく必要がありますから、今まで正しいとされてきたいろいろな知識を学ぶ必要があります。しかし、そこから新しい人物像、解釈、歴史観を生み出すことは、私たちの自由です。固定観念にとらわれずに、自由な考えをもつ、それが私の皆さんに大いに期待することです。あなたの発想は自由なのです。

二つ目は、大きな目標を、恐れることなく抱いてほしいということです。呂布は天下を志しました。今の世の中は武力で支配する時代ではありませんが、あなたがしたいこと、ねらっていること、目指していることがどんなに遠大なものであっても、それはあなたの自由です。目指してください。私の師は、「目標を追いかけるな。まぼろし（とおもえるほどのもの）を追いなさい。」と私を励ましたことがあります。だからこの歳になつても、私には追求するものがあります。海に沈む夕日のように遠いものですが、あきらめません。まして皆さんなら、若さをもつて遠さを埋められるはずです。私はあなた方に、大いに期待しています。

生徒会の活躍 エコキャップ運動の成果



生徒会が主体となって取り組んだエコキャップ運動の成果がまとまりましたので、先日、生徒会朝礼にて生徒会本部から、生徒の皆さんへの報告と感謝が伝えられました。今回、NPO法人エコキャップ推進協会に届けることができたペットボトルキャップは総数 16,727 個 (38.9kg) と、目標の 15,000 個を上回りました。協力をしてくれた生徒の皆さん、保護者の皆様、ありがとうございました。エコキャップ運動は通年で実施していますので、たまたまキャップは校舎2階の事務室前のボックスに入れてください。これからもよろしくお願ひいたします。

たまなが生の大活躍！

○令和6年度下半期多摩市教育委員会表彰

◆明田 悠弥（3年） 第48回全国道場少年剣道選手権大会 中学生男子の部 ベスト8進出により。

◆山本 創樹（1年） 第13回くらしき吉備真備杯こども棋聖戦 出場により。

お二人とも、見事な成果です。おめでとうございます！

○バドミントン部

令和6年度多摩市中学生バドミントン冬季学年別大会

2年男子ダブルス 第1位 矢口 鼓太良（2年）・水沼 七稀（2年）ペア

○男子バスケットボール部

ながやま杯冬季研修大会

U-14の部 優勝

優秀選手賞 池田 晴信（2年）、山本 盛雅（2年）

敢闘賞 高野 聖彪（2年）

U-13の部 優勝

優秀選手賞 佐藤 慶心（1年）

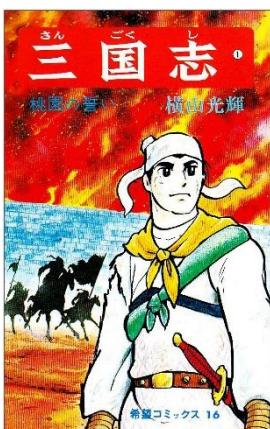
敢闘賞 小澤 虹（1年）



○第4回多摩市社会を明るくする運動作文コンテスト表彰式

2/10（月）にベルブルホールにて開催された表彰式の様子をお届けします。本校からは2月号に掲載したように、
張 彦儒 さん（2年）が参加しました。とても立派な振る舞いでした。おめでとうございます！

そうだ、図書館へ行こう！～三国志の豊かな世界～



名作にして良書『三国志』
潮出版社から刊行

今回は中国の古典で、日本でも人気の高い「三国志」をご紹介します。コミックスや映画、人形劇等で人気を博している「三国志」は、中国の歴史書『三国志』をもとにして勸善懲惡ものに小説化、脚本化された『三国志演義』を母体としています。歴史から文学作品に生まれ変わったため、歴史に必ずしも忠実ではなく、歴史書では登場しない人物や出来事、フィクションがちりばめられ、その分楽しく読めるものとなっています。

学校図書館には『三国志演義』をベースとした作品が何種類も開架されています。まずは『三国志（吉川英治 六興出版 913よ1～10）』がお勧めです。全十巻と長めですが、気にいったら一日もかからずに読み終えてしまうことでしょう。短くまとまった方には『三国志上下（丹羽隼兵・守屋洋共訳 さ・え・ら書房 92ち9）』もよいでしょう。また漫画でさらりと読みたいという人には、『集英社版学習漫画 中国の歴史3 三国志の英雄たち（貝塚ひろし画 集英社 22が3）』も楽しく読めます。

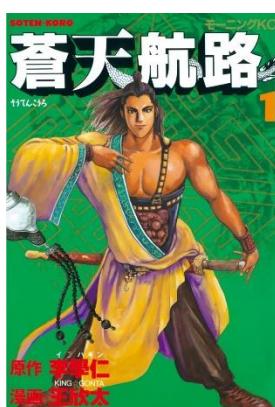
三国志はおよそ百年の大乱の中国を舞台にした大河ドラマですから、二次的な創作物もたくさん生まれています。例えば図書館には、三国志に登場する英雄、豪傑の「はちゃめちゃで残念なエピソード」だけを収めた『ざんねんな三国志（真山 知幸 一迅社 222マ）』もあなたが読んでくれるのを待っています。

三国志は何回も漫画化され、その都度新しい世界観、人物像を見せてくれますが、三国志入門として読むには、『三国志（潮出版社 横山光輝 726よ1）』全60巻がお勧めです。著名なマンガ家横山光輝の整った画風と壮大な構成力は読む者をひきつけます。ここでは英雄然とする劉備玄徳も、そして悪役として描かれやすい曹操孟徳も魅力的な登場人物として大活躍します。あなたも推しキャラが見つかるといいですね。

図書館には入っていないのですが、『蒼天航路（李學仁（原作・原案）、王欣太（作画）講談社）』は、悪役とされる曹操孟徳を主人公とし、正史をなぞりつつ物語をダイナミックに創作しています。特に物語が始まる場面は秀逸です。この作品はこう始まります。「天が偉大だとはみんな知っている。しかし大きすぎて想像できないのだ。しかし指が偉大なことはみんな知っている。金銀財宝を手にとって楽しむのは指だ。山海の珍味を口に運ぶのも指だ。美しい女人の涙をぬぐってやれるのも指だ。そしてその指に、手に、剣を握れば、あるいは天下を手にできるかもしれない」と。読書心を煽られますね。

ぜひ、みなさんも広く豊かな三国志の物語に触れてみてはいかがでしょうか？

※書影の使用許諾をくださった潮出版社様と光プロダクション様、講談社様に心から感謝申し上げます。



快作、奇作『蒼天航路』
講談社から刊行